





本朝名公墨寶卷之中

目錄

伏見院

後伏見院

為圓親王





為道親王

為鎮親王

為朝親王

為純親王

近衛閑白信基

本門弥光悦



伏見院

山  
廬  
採  
薇

雲  
不  
獸



洞中栽樹

鶴先知

鳳池後面

新煉月

龍關前頭

薄暮山



醉酌卯卯

東海無窮

正睡甲日

偏花風

落枕波聲

分岸行舟



菊 道 板 石

あまの

生る

じ め の せ り

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



かきつばたのうらみ

あはれなき

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ



花のうらみ

あはれ

かき

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



接

後伏見院

得少年

長乞巧

不  
子  
子  
子  
子

子  
子  
子  
子  
子

子  
子  
子  
子  
子

子  
子  
子  
子  
子



竹竿了取上

願總

多

賣藥修琴

歸去重山風

吹去桂花枝



世間甲子須

史の世若仙

人其省其察

母のふりば夢か

うたゝのうたはと

あふゆめもあふ

あふくあふれ



あはれにまかりあはれ

いくせの屋とあはれ

あはれとまかりあはれ

あはれとまかりあはれ

あはれとまかりあはれ

あはれとまかりあはれ

あはれとまかりあはれ

あはれとまかりあはれ

あはれとまかりあはれ



らさかりにあさぬ

しきもあはし

乃

あはしよのあはし

うらみ

守り

贈一品為園親王

君子夜涼

聲不發



かたむね

かたむね

かたむね

かたむね

かたむね



老翁手晚

鬚相為

十月江南天

氣好可憐冬

氣似春華

上及去氣倍



例下宿信取

屋太窄亦白

越過七日白如燕

如燕人不知為鳥

了絕心去從

花燕結如河



欲從母約夫  
并

河過中解是者

多如然為法覺

厚人志道也

又法友者微生

可出死生權院



因履令金行

酒烟寫其味

美室各之味

散趣涯老之

海每又亦相老

杖之身百之人



蜀抄的楷教

天々納涼く地

河を流るる水

年々暮るる日

早の春の光

花の香の風



多知也約古時著一經

之既牙始之也

河相之飲玩時也

可來始高心德也

乃如也

海濱之英東也



海濱之直下無底  
旁無龜雲瀆煙浪  
寂深處人傳中有  
三神山之生不死

藥服之羽化為天仙  
秦皇漢武信此謠方  
士年之採藥去蓬萊  
今古但聞名天大劫



無貨見處海濤之風  
浩之眼字不見蓬蓬  
菜鳴不見蓬蓬菜不  
教歸老男朴女母

中先徐福文成多  
遊地王元右一老也  
倚天表瀛山海上杜  
隨頭策策一老也風



吹簫勞笛河晚笛

元望祖天子

素不言仙上

白日孫一

見少

~~~~~

交古楚

~~~~~

~~~~~



みづのきりぎりす

のこしむらさき

てんしんちりり

いしりり

あま

衣のまふぢり

たもれぢり

あま

あまのきりぎりす

あまのきりぎりす







ふのちをたす

心の業より音

あ

あ

あはれなる人の

一品為道親王

三山ふたつ河

手習合浦海

海峯の海



新巻

起蟻

黄

新巻 二分

新巻 一白

あはれ原 あり

しきみきん

みまの

あはれ

あはれ

あはれ



我々の心

あつた

ま

いふ

あつた

二品親王の鎮

藤原

花

竹

中



たきぬる煙の

庭より匂ふ

かきしる ちりしる

梅の心

を

こぼれし乃とて

不堪紅葉

青苔地

又乞涼風

暑も天



志ろ 推毛 町ぬあふ  
いり めが 山 巻

一 大義 の ちん

の ちん 一 に ちり

二品 尊朝 親王

風 生 竹 葉 窓

間 外 月 照 松



河春之川

苗春不用開

城園花落隨

風多入雲

夕の如雲

松毛如雲



去月十日

記乃子

力

當青蓮院殿二弟普純親王

池冷  
伏友  
有  
一  
聲  
林  
松  
馬  
風  
三



有 計 乃 以 之

計 此 之 以 之

計 以 之 以 之

以 之

以 之

有 計 乃 以 之

以 之

清 智 乃 以 之

溪 智 乃 以 之



落日橋為  
林深長

心自  
遠  
如  
長

如  
如  
如  
如

如  
如  
如  
如

如  
如  
如  
如



近衛殿信基

錦懷曉開雲

母殿白珠秋

寫水精盤



いさるれが世

まをせはらるる

人の世なり

まをせはらるる

行言見月傷

心色夜雨淡

猿断腸拜



あけぬるに即ち

やゆりしに鹿の

うらみこゝろに

たき乃志の風

本阿弥光悦

書

うらみこゝろ

乃也懐

あけ



子  
子  
子

子  
子

子  
子  
子

子  
子  
子

子

子  
子  
子

子  
子  
子



六二

1874.10

1874.10

1874

1874

1874.10

1874.10

1874

1874.10

1874.10

1874.10



卷

之

卷

卷

卷

卷

物

之

卷

神

板

卷

卷







中卷終

是

乃

之

時

之

時

之







